

平成30年第2回

幸手市教育委員会定例会会議録

招 集 期 日	平成30年2月13日(火) 午前10時00分					
開 会 場 所	行幸小学校 3階 会議室					
開会の日時・宣告者	平成30年2月13日(火) 午前10時00分			山西 実		
閉会の日時・宣告者	平成30年2月13日(火) 午後0時20分			山西 実		
出席 状況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	教 育 長	山 西 実	出席	教 育 委 員	前 田 一 郎	出席
	職務代理者	中 根 政 美	出席	教 育 委 員	満 木 信 吉	出席
	教 育 委 員	尾 島 紗 緒 里	出席	教 育 委 員	齊 藤 一 夫	出席
				書記:木村博・大越歩美		
議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教 育 次 長	小 森 谷 進				
	総 務 課 長	関 根 一 勝				
	学校教育課長	森 祥 一				
	社会教育課長	尾 崎 武				
	スポーツ振興課長	関 根 智 裕				

会議事件名	顛末
<p>開 会 午前 10 時 00 分</p> <p>日程第 1 行幸小学校の運営状況等について</p>	<p>教育長 開会を宣する。</p> <p>行幸小学校長 行幸小学校の運営状況等について、資料により説明する。また、郷土芸能クラブの練習の様子をみていただきたい。</p> <p>《質疑》</p> <p>尾島委員 以前、子どもたちの郷土芸能クラブの様子を見させていただいたが、なごやかで良い雰囲気だった。また、掲げられている目標「行幸小かきくけこ」「みゆきっこ」の中に、あいさつが入っており、あいさつに力を入れていると感じられて、とてもよいと感じる。</p> <p>満木委員 「本をたくさん読む子」「毎月 1 人 10 冊」が大変素晴らしい。最後のページにある「ゲームをしない日」や「テレビを見ない日」などと上手に連動させて、なぜ、読書をすべきなのか、テレビやゲームをやりすぎるとどのようなことが起こるのかを、子どもたちに教え、話し合い、自主的な動機付けをしていただきたい。</p> <p>前田委員 目標の中で、食べ残しゼロというものがある。この目標は他の学校ではあまり見ないが、どういうものなのか。説明をお願いしたい。</p> <p>行幸小学校長 年に一度、きれいに全部食べたかどうかのコンクールを行う。このコンクールは食べる量、配膳や片付け、給食ワゴンが給食室に戻ってくるまでが対象である。食べることは毎日指導している。</p> <p>前田委員 残さず食べることはとても素晴らしいことだと思う。食べ残しゼロは正しいことだと思うため、今後とも継続していただきたい。</p> <p>もう一点質問がある。児童数が急激に増加している中で、一般的に全校生徒の中の発達障害の児童の割合はどのなの</p>

<p>日程第 2 前回会議録の承認</p>	<p>か。</p>
	<p>教育長 一般論でいえば、児童数は増えた分だけ増える。</p>
	<p>教育長 行幸小学校以外で郷土芸能に関わる学習の取り組みはどのようなものがあるか。</p>
	<p>学校教育課長 クラブ活動でいうと、さかえ小学校で和太鼓クラブ、他の学校では昔の遊びクラブなどがある。</p>
	<p>尾島委員 さかえ小に通っていた娘と息子がクラブ活動で和太鼓や囲碁を体験していた。小学校で伝統芸能に触れる機会があると、子どもが選ぶことにはなるが、経験する機会ができるため、今後も残して行っていただきたいと思う。</p>
	<p>齋藤委員 吉田小学校にも、和太鼓クラブはあるが、行幸小のように地域の伝統というわけではない。地元の伝統に触れることは子どもにとっても地域の人との繋がりができ、良いと思う。地域の伝統というのは、なくなってきたり、まとまったりしている。今の時点にまで伝統が残っているのは素晴らしい。</p>
	<p>教育長 権現堂川小学校のまこも作りは一人ひとつ作るようにしており、土地や人材等を活用して上手に残っていると思う。</p>
	<p>中根職務代理者 2点感想がある。1点目について、太鼓のおはやしや逆上がりは子どもたちに自信を持たせることに繋がる。先生方は丁寧に一人ひとりの子どもに自信を持たせようと進めており、よくやってくれていると思う。2点目は、生徒指導や障害のある児童への対応はどここの学校でも課題だと思うが、正面から受け止めている姿勢を感じることができた。今後にも期待していきたいと思う。</p>
	<p>教育長 平成 30 年第 1 回教育委員会定例会の会議録の内容について質問を求める。 ≪質疑≫ 質疑なし。 ≪承認≫ 全員異議なく承認。</p>

**日程第3
議 事
議案第2号**

幸手市特別職の職員で
非常勤のもの報酬及
び費用弁償に関する条
例の一部を改正する条
例

総務課長

議案書により説明する。

《質疑》

前田委員

質問が3点ある。まず1点目に、報酬が13万円から19万円まで一度に上がるのはどうなのか。市民の感覚からすると、納得できないものがある。2点目に、今後この案件は人事案件として挙げられるのか。3点目に、実績があった方を公民館館長に任命するとあったが、実績とは何か。

総務課長

報酬の上げ幅は確かに大きいと思うが、責任を有すると考えると、今までの低額すぎたのではと考える。例えば、吉田幼稚園で園児に何か事故などがあると、園長の責任となる。その責任の大きさを考えると、今までの低額すぎた。本来であれば、例規に記載があるならば、毎年見直しを行うべきだったが、今まで職員が務めていたため、見直しが行われず、改定がなかった。2点目に関して3月の人事案件の際にご提案させていただく。3点目は、幸手市内の小中学校を退職された校長や幸手市在住で他市町の小中学校を退職された校長などを想定している。地域との繋がりや経験等を勘案し、人選をさせていただきたいと考えている。

前田委員

1点目に関して、半分は納得できるが、やはり感情面で納得できない部分はある。また、3点目に関して、実績の捉え方だが、退職したことが実績になるのか。実績には客観的な数字がほしい。校長として、地域とのコミュニティをとることは当然のことではないか。行政が望んできた成績をあげるということを、どれだけ実践してきたかが選考の大きな基準になるのではないかと。

総務課長

校長職で退職したということは、選考の1つの基準になりえる。この場で、選考基準を申し上げなかったが、前田委員が言う基準も、たしかに、選考の基準の1つにはなりえる。就任をお願いする際には、それについても、十分加味されて選考されると思う。

前田委員

	<p>あくまでも、就任をお願いするのか。</p> <p>総務課長 非常勤特別職のため、お願いすることになる。</p> <p>前田委員 退職後の意思確認をヒアリングしてから人選するのか。それとも行政が候補者を選任するのか。本人の希望を聞く場はあるのか。</p> <p>総務課長 やりたい方よりもやっていただきたい方をお願いすることになる。</p> <p>教育長 ヒアリングの正式な場はないが、退職校長については、退職後の進路について話を伺っている。その中で、本人の希望や実績等を総合的に勘案しながらお願いしていかれたらと考えている。</p> <p>満木委員 公民館長が市職員だった場合、支払うものは給与だけということか。今まで現在の額を支払っていたのは、吉田幼稚園長だけということか。</p> <p>総務課長 その通りである。職員が館長の場合、職務として館長を務めているため、市からの給与だけということになる。その他の費用は一切でない。幼稚園長に関しては、特別職として、お願いしていた。</p> <p>満木委員 幼稚園園長と公民館長の報酬を分けて考える必要があると考える。吉田幼稚園長の場合、報酬引き上げに関しては大変納得できる。園長のような職務と責任を持っている方の報酬が13万円というのは安すぎる。人望と実績のある退職校長に努めていただくというのは非常に有効である。報酬額19万円というのはしかるべき金額であると考えている。</p> <p>中根職務代理者 質問が2つある。まず、報酬月額が再任用の主任級を参考にしたということだが、勤務は概ね週3日と考えてよいのか。2点目に、就任をお願いするときに、退職校長ということ文言に表記されるのだろうか。</p> <p>総務課長 勤務体系は週3日を想定しているが、公民館事業は土日に</p>
--	--

もある。そのため、事業等の状況によっては土日も出勤していただく必要がある。原則は週3日だが、それを超えてしまう可能性もあり得る。2点目についてだが、明文化はせず、内部の検討の指針に留めるだけを考えている。

中根職務代理者

1点目に関して、週何日勤務になるかは分からないが、大変だと思う。ぜひ報酬の改定を行っていただきたい。特に幼稚園長の報酬金額は低すぎると感じた。2点目に関して、明文化しないということで安心した。市民の皆さんに天下りではないかと心配をさせてしまのは避けるべきである。地域の公民館活動に資するというこてで、適任の方だということを強調していただきたい。

教育長

幸手市立小中学校を退職したということだけではなく、以前に幸手市で頑張っていたいて、現在は他市町という方もおられるので、幅広い人材登用ということで考えていったらどうか。

前田委員

天下り先にみられるとあったが、間違いなく市民は天下りと思う。そのために、天下り先にみられないようにするためにはどうすればいいかということではないのか。

満木委員

吉田幼稚園長に関しては、納得していただけると思う。しかし、公民館長に関しては、前田委員が言う通りだと思う。そのため、公民館長には、今後責任と役割が増えたため、ときっちり説明していかないと、天下りだと思われる。

前田委員

公民館長に関して、今までは市職員が行っていたが、退職校長に代わるため、賃金が安くなると捉えられる。元々の公民館長である市職員はどうなるのか。市役所庁内の外の課に移り仕事をするのか。

総務課長

確かに、他の仕事に回る。ただし、退職職員のピークが終わり、再任用職員の人数も減っている。そうした中、現状を維持するためには、新規職員を雇わなくてはいけない状況にある。そうした中で、退職された校長が館長職に就任いただくことは経費の削減にもつながる。職員1人雇うよりも安い。今後においては、再任用職員も考慮し、全体の定数管理を行

っていくことになる。来年度は2名重複するかもしれないが、次年度以降は全てを勘案したうえでの定数管理になるため、市民への説明を、十分に責任をもって行えると思う。

教育長

公民館長を必要な定数の中に収めていくので、その定数の中に入らなければ、新規採用を取る必要がある。

満木委員

何かの物事を行おうとする場合、人材は必要になる。どの業界においても、人望や実績がある人物は周囲が認識している。そのような人物に公民館長に就任していただき、幸手の人材を厚くしていく必要があると思う。そのため、報酬の改定は必要だと考える。

総務課長

公民館長には地域の活性化という役割もあるが、職員を指導していただく部分もある。今の状況でいうと、公民館長は地区市民センターの長も兼任しているため、今後も兼務してもらうことになると思う。そして、教育部局の職員としてだけでなく、市長部局の職員としても関連する仕事については、指導いただけることになると思うので、経験を生かし、ご指導いただきたいと思っている。

教育長

非常勤特別職を天引き先にみられないようにするための市の内規等はあるのか。それとも、「学識経験を有する」となっているのか。

総務課長

市の内規等はない。

教育長

市長部局のほうではあるのか。

総務課長

市長が選任して議会で承認いただく特別職もあれば、教育委員会のような場合もあるため、同じ非常勤特別職でも、任命形態は様々である。一概にはなかなか、申し上げにくい。

齋藤委員

公民館長が変わって、再任用になるということだが、公民館の体制はどうなるのか。3人いるうちの1人が館長になるのか、それとも職員3人と館長なのか。館長が週3日勤務だとすると、実質的な人数は減ってしまうのか。

総務課長

	<p>3人の内訳は、1人が公民館長、2名が再任用職員であり、交代で出勤している。そのため実態は2人である。それにパート職員が1名配置されている。退職校長には館長として来ていただくが、再任用職員と2名でできるかと言われても難しいだろう。職員を指導していただくという意味合いもあるため、定数管理等の状況によっては中堅の若手等の配置をして、指導していただく可能性もある。館長を含めて4名体制もあり得ると考える。</p> <p>齋藤委員</p> <p>外から見ると、館長というのは固い人というイメージがあり入りにくい。しかし、若い人がいると入りやすいと感じる。若い人が配置されるとありがたい。</p> <p>教育長</p> <p>今後の整備体制については、さらに検討を行っていきたいと考える。</p> <p>《採決》 全員異議なく原案どおり議決。</p>
<p>議案第3号 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の移植について</p>	<p>総務課長</p> <p>議案書により説明する。</p> <p>《質疑》</p> <p>尾島委員</p> <p>今回委嘱する中で、前回と比べて担当学校の変更や、医師の追加はあるのか。</p> <p>総務課長</p> <p>さかえ小学校の学校薬剤師に関して、前薬剤師が退職した関係で、変更となっている。</p> <p>《承認》 全員賛成により原案どおり議決。</p>
<p>議案第4号 平成29年幸手市一般会計補正予算(第5号)教育費の要求について</p>	<p>教育次長</p> <p>議案書により説明する。</p> <p>《質疑》</p> <p>満木委員</p> <p>資料の中で、棒線で消されている部分があるが、これはなぜなのか。</p> <p>教育次長</p> <p>担当課が教育委員会以外であるため、消している。</p>

<p>議案第 5 号 平成 30 年幸手市一般会 計当初予算教育費の要 求について</p>	<p>《採決》 全員賛成により原案どおり議決。</p> <p>教育次長 議案書により説明する。</p> <p>《質疑》</p> <p>満木委員 一般会計のうち、教育費の割合が 12.8%とあるが、この割合は他市と比較して、高いのかそれとも低いのか。また、教育費の振り分けについて、小学校と中学校のバランスはだんだんと増加してきているのか。</p> <p>教育次長 既に公開されている久喜市との比較で申し上げる。久喜市は一般会計に対する教育費の割合は平成 29 年度が 9%、平成 30 年度が 10%となっている。</p> <p>満木委員 教育長の経験から、このバランスはどう感じるか。</p> <p>教育長 割合については、年度の大きな事業を持つか持たないかによっても変わってくるため、一概にパーセントだけで比較することはかなり困難である。例えば、大規模改修だけで 3 億の予算がつくなど、年度によってもズレがある。</p> <p>中根職務代理者 越谷市も、一般会計全体に係る教育費の割合は 10%前後であった。だいたい 9%から 10%を少し超えたくらいが平均である。教育費が 25%を占めるといふ市町村は聞いたことはない。</p> <p>質問だが、トイレ改修費が多いが、増額のほとんどはトイレ改修費に充てられるということでのよいのか。</p> <p>教育次長 その通りである。</p> <p>教育長 学校教育課の方で、教育内容に関する予算はどのようなものがあるのか。</p> <p>学校教育課長 一つは、英語教育の充実である。A L T 2 名増員分を計上している。もう一点は 12 月に幸手独自で行う学力テスト関係予算である。</p>
--	---

前田委員

市独自の12月の学力調査は学力調査業務委託料でよろしいのか。また、これは小中学校で行うのか。

学校教育課長

その通りであり、小中学校で行う。

前田委員

A L Tは、外国語指導助手派遣業務委託料だと思うが、A L Tは幸手市で雇うのではなく、会社をお願いして派遣してもらう形なのか。

学校教育課長

その通りである。

前田委員

A L Tは以前から、業務委託なのか。

学校教育課長

今までは、国や県の事業から派遣していただいていた。その事業ではいつも夏に入れ替えを行っているが、今回は4月から増員しないとならないということと、民間の企業からもA L Tを取り入れると、充実するのではないかということから、企業からの派遣業務委託ということで進めていく予定である。

前田委員

A L Tというのは、教員免許がなくても授業を行えるのか。

学校教育課長

A L Tは教員ではなく、教員の補助であるため、教員免許がなくても授業の補助を行うことは可能である。そのため、業務委託が可能となる。

前田委員

今まで、幸手市で業務委託を行い、教員を学校に派遣したことはあったのか。過去にはA L Tの業務委託はあったのか。

学校教育課長

知る限りでは、業務委託はなくJ E Tを用いて国に派遣依頼をしてきた。

教育長

J E Tで国や県を通じて派遣をしていただくのが一般的だった。しかし、近年、地方自治体が独自に民間会社と接触し、人材を確保する手法が増えた。

前田委員

今回、民間に委託するALTはJETを通じて派遣してもらっている現在のALTと比べて、人件費はどうか。

学校教育長

あまり変わらない。JETも民間も500万程度である。民間のほうが若干低い。

前田委員

次の質問である。幼稚園費の補助金についてだが、補正で修正が上がってきている私立幼稚園就園奨励費補助金の説明をお願いしたい。

学校教育課長

この補助金は、所得に応じて額を決定している。年度当初に計画していた人数よりも、本年度は少なかったため、補助金を修正した。

前田委員

還暦式についての予算は、計上してあるのか。あるとすれば、どこにあるのか。

社会教育課長

還暦式関係は、成人式と違い、委託という形ではない。自前で開催しているため、講師謝金や消耗品費等の中に含まれている。平成30年度も実施する方向で考えている。

前田委員

子ども会育成連絡協議会補助金80万についての質問がある。以前質問した際、幸手市には子ども会は2つしかないが、その2つの子ども会が補助金を使うのではないという答えだった。去年は、どのように使用したのか。

社会教育課長

2つしかないということではなく、2校区である。子ども会は主にかかるた大会を開催しており、その関係で使用している。他の学校区にも広く声をかけて、参加してもらおうという活動をしている。

教育長

主催は市子連だが、呼びかけは市内広く行っている。

前田委員

次の質問である。学校の防火管理者とは誰なのか。

学校教育課長

基本的に教頭である。

前田委員

<p>日程第 4 行政報告 1 教育長報告</p> <p>2 事務局からの 主要な報告</p>	<p>教頭ということは、校長は教頭を経験しているため防火管理者の資格を持っている。ということは、公民館費で防火管理者資格取得講習会負担金を計上しているがいらぬのではないか。</p> <p>社会教育課長 人事異動があるため必要である。人事異動で新しい職員が館長になった場合、新たに防火管理者の資格を取らなければならない。</p> <p>前田委員 ということは、公民館長が全て退職校長になれば、防火管理者講習関係の予算はいらぬということによいのか。</p> <p>社会教育課長 そうならば費用は掛からないため、将来的に計上しない可能性もある。</p> <p>中根職務代理者 経常的な工事費の金額が多いが、幸手市の教育の充実に向けて尽力いただきたい。</p> <p>教育長 1 市長への報告 2 各種教育長会議等 3 自己評価シート最終報告校長面接 4 講演等 について資料により説明する。</p> <p>学校教育課長 1 平成 30 年度幸手市立小・中学校学級編成・児童生徒見込みについて 2 平成 29 年度学校評価の結果について 3 2 月中旬から 3 月末までの行事予定</p> <p>学校教育課長（吉田幼稚園） 1 1 月行事 2 2 月の行事・研修予定</p> <p>社会教育課長 1 第 32 回彩の国 21 世紀郷土かるた埼葛北支部大会 2 第 37 回幸手市企業「人権・同和問題研修会」</p>
---	---

	<p>3 バスDE物流ツアー</p> <p>4 第9回ランチタイムコンサート</p> <p>5 幸手市文化遺産だより(第15号)</p> <p>6 第36回彩の国21世紀郷土かるた県大会</p> <p>社会教育課長(公民館)</p> <p>1 子ども大学さって(さって子どもセンターとの共催事業)</p> <p>2 1月の利用状況</p> <p>社会教育課長(図書館)</p> <p>1 報告事項</p> <p>2 利用状況</p> <p>3 今後の事業予定</p> <p>4 予約の多い図書(上位5冊)</p> <p>5 購入図書リスト</p> <p>スポーツ振興課長</p> <p>1 幸手市スポーツ推進委員連絡協議会主催事業</p> <p>2 利用状況</p> <p>について資料により説明する。</p> <p>《質疑》</p> <p>尾島委員</p> <p>質問が3つある。1つ目は臨時会の日程だが、2月22日と3月22日は確定か。2つ目は幸手市立小中学校評価結果について、保護者の回収率85.7%とあるが、具体的な人数はあるのか。また、小学校と中学校でどれだけ回収率が違うのかが知りたい。3つ目は、バスDE物流ツアーとあるが、これについて周知はしてあるのか。</p> <p>学校教育課</p> <p>2月22日の臨時会は確定だが、3月の臨時会は未定である。日程が決まりしだい、連絡する。</p> <p>総務課長</p> <p>3月の臨時会は教育委員会事務局職員の人事も関係してくるため、市職員の内示を待って臨時会を行う予定である。</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校評価結果について、人数までは出していないので、次回までに調べて報告したい。</p> <p>社会教育課長</p> <p>バスDE物流ツアーについては周知してある。チラシを配布したり、広報紙に掲載したりした。</p>
--	--

満木委員

新着図書リストについて、来年度から小学校 5, 6 年生で教科としての英語が加わるため、子ども用の対訳本を 10 冊程度入れていただきたい。

社会教育課長

今後も協議し、進めていきたいと思う。

前田委員

教育長報告の中に、自己評価シート最終報告校長面接とあるが、この結果は来月の定例会で提出されるのか。

教育長

基本的には公開するものではないが、次回までには集計して、概要について提示したい。

前田委員

もう一点質問がある。夏休みの短縮や土曜授業の件で教育課程プロジェクト検討会議を立ち上げたと思うが、進捗状況を教えていただきたい。

学校教育課長

ほぼほぼまとまってきたため、次回定例会で報告したい。大枠として、夏休みの短縮について来年度は行わない方向である。

尾島委員

ピアノ演奏体験についてだが、内容等の企画を担当しているのは誰なのか。参加費が 1,000 円かかるというのは初めて知った。

スポーツ振興課長

この企画は指定管理者の方で行っている。

尾島委員

定期的に、企画内容の見直しは行われているのか。参加者は今回も 2 名ということで、少なく感じる。

スポーツ振興課長

この企画は、高価なピアノを皆様に演奏していただきたいというものである。今後は、市内の音楽教室にも声をかけていきたいと思う。

尾島委員

参加費も 1,000 円かかるということなので、それなりのものをと考える。良いものであれば、口コミなどで広がっていくと思うので、より多くの方に触れていただけるように、見直しを行っていただきたい。

	<p>スポーツ振興課長 指定管理者と協議し、多くの方に触れていただけるような企画へ見直しを行っていききたい。</p> <p>中根職務代理者 感想が2点ある。1点目は小中学校の学校評価について、大抵、保護者の教育に対する意識と教師の意識では差があるものだが、家庭学習を行っていると答える保護者が増加してきているため、取り組みの成果であると考え。引続きお願いしたい。2点目、図書館のリサイクル本の配布についてだが、参加した学校が2校であるというのは、印象としては少なく感じる。学校にとっては気軽に扱える図書を手に入れられる機会であるため、今後も続けていきたい。</p> <p>尾島委員 小中学校の評価結果について、お願いがある。教育相談について課題にも書かれているが、教師と保護者意識の差が特に中学校で大きくなっている。中学生はこれから進路に関して、悩み不安定になる時期だと思う。相談しやすい環境を作り整えていただきたい。</p> <p>学校教育課長 時間と場の設定をするよう、学校に周知したい。</p>
<p>日程第5 1 次回定例会の日程について</p>	<p>各委員の意見を調整した結果、3月の定例会については、次のとおり決定する。</p> <p>第3回教育委員会定例会 日時 平成30年3月13日(火) 午前9時30分～ 場所 アスカル幸手 2階 会議室</p>
<p>2 次回の協議事項について</p>	<p>総務課長 これまで、教育委員会定例会をアスカル幸手で開催したことはない。そのため、今回は、アスカル幸手の施設案内を行うため協議事項は省略させていただく。</p>
<p>3 卒業式及び入学式の出席依頼、卒業式の告示について</p>	<p>学校教育課長 今年度の卒業式、卒園式及び来年度の入学式、入園式の案内を配布させていただいた。出席をお願いしたい。また、卒</p>

<p>4 市内小中学校インフルエンザの状況について</p> <p>5 大雪による学校施設の被害状況について</p> <p>閉 会 午後 0 時 20 分</p>	<p>業式の告示の案を入れさせていただいている。ご意見をいただくとともに、各学校の顕著な活動等を入れたものを作成し、今後お配りしたい。</p> <p>総務課長 市内小中学校インフルエンザの状況について、資料により説明する。</p> <p>総務課長 1 月 22 日の大雪並びに 1 月 23 日以降の寒波による学校施設の状況について、資料により説明する。</p> <p>教育長 閉会を宣す。</p>
---	---

<p>他 特 に 重 要 と 認 め る 事 項</p>	<p>な し</p>
	<p>上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: right;">平成30年 3月13日</p> <p style="text-align: center;">教 育 長 山 西 実</p> <p>署名</p> <p style="text-align: center;">署 名 委 員 前 田 一 郎</p>